

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成29年3月27日

計画の名称	1 西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）整備事業																											
計画の期間	平成23年度～平成26年度（4年間）					交付対象	川越市																					
計画の目標	西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）整備事業は、埼玉県西部地域活性化のシンボリックな施設として、県西部地域の資源や特性を生かし、自立性の高い地域づくりに向け、次の3点を目標に整備する。 1. 「産業支援・次世代を担うひとづくり」の推進 2. 地域住民の活動・交流の促進 3. にぎわいの創出																											
計画の成果目標（定量的指標）	・複合型公共施設整備により新たな賑わい創出を図る ・中心市街地の歩行者・自転車通行量の増加																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H23当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> <tr> <td>新規で整備される複合型公共施設の利用者数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>405,855人/年</td> <td rowspan="2">※平日および休日通行量の合計</td> </tr> <tr> <td>本事業を含めた定点における平日及び休日の川越駅西口周辺地区の歩行者・自転車通行量</td> <td>41,653人/2日 ※</td> <td>—</td> <td>46,000人/2日 ※</td> </tr> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)	新規で整備される複合型公共施設の利用者数	—	—	405,855人/年	※平日および休日通行量の合計	本事業を含めた定点における平日及び休日の川越駅西口周辺地区の歩行者・自転車通行量	41,653人/2日 ※	—	46,000人/2日 ※
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																								
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値	最終目標値 (H26末)																									
新規で整備される複合型公共施設の利用者数	—	—	405,855人/年	※平日および休日通行量の合計																								
本事業を含めた定点における平日及び休日の川越駅西口周辺地区の歩行者・自転車通行量	41,653人/2日 ※	—	46,000人/2日 ※																									
全体事業費	合計 (A+B+C)	9,540	百万円	A	9,540	百万円	B	0	百万円	C	0	百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%														
事後評価																												
○事後評価の実施体制、実施時期																												
事後評価の実施体制					事後評価の実施時期																							
川越市暮らし・にぎわい再生事業事後評価委員会にて評価を実施					平成28年度 ※定量的指標の1つである「複合型公共施設の利用者数（年間）」を集計後の平成28年度に実施。																							
					公表の方法																							
					川越市ホームページに掲載																							
1. 交付対象事業の進捗状況																												
交付対象事業																												
A 基幹事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考													
1-A-1	再開発	一般	川越市	直接	川越市	川越駅西口地区暮らし・にぎわい再生事業	公共施設、交流広場等、約1.5ha	川越市	H23	H24	H25	H26	H27	9,540														
合計													9,540															
B 関連社会資本整備事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考													
									H23	H24	H25	H26	H27															
合計																												
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考													
C 効果促進事業																												
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考													
									H23	H24	H25	H26	H27															
合計																												
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考													
その他関連する事業																												
事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考														
A'	市街地	一般	埼玉県	直接	埼玉県	川越駅西口地区暮らし・にぎわい再生事業	公共施設、交流広場等、約1.5ha	川越市						1,303	H23-24地域自主戦略交付金 計画名 西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）整備事業 H25-26社会資本整備総合交付金 計画名 地域振興拠点施設（仮称）整備計画													
A'													1,303	百万円	B'		0	百万円	C'		0	百万円	(C+C')/(A+A')+(B+B')+(C+C')	0.0%				
※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。																												

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・新規で整備された複合型公共施設(以下「本施設」という。)は、産業支援・文化芸術振興・市民活動拠点として多くの方に利用され、川越駅西口周辺地区の新たなにぎわい拠点としての効果が発現している。
・地区全体のまちづくりの進展とともに、本施設の集客効果により新たな人の流れが生まれたことで、川越駅西口周辺地区の歩行者・自転車通行量は、著しく増加している。

II 定量的指標の達成状況

指標① (新規で整備される複合型公共施設の利用者数)

最終目標値 405,855人/年

405,855人/年

目標値と実績値

最終実績値 505,596人/年

505,596人/年

に差が出た要因

・市施設、県施設の様々な関連施設が新設・集約された事で、利用者にとって非常に利便性が高まるとともに、新たなにぎわいが創出された。また、民間にぎわい施設が併設された事で、集客力も高まり、利用者数の大幅な増加につながった。
・従前施設が集約されたことで、関連するイベントも本施設で開催され、集客力の向上につながっている。
・本施設は、川越駅や国道16号からアクセスでき、川越駅から徒歩5分と施設が利用しやすい環境にあり、利用者から高い評価を得た。

指標② (本事業を含めた定点における平日及び休日の川越駅西口周辺地区の歩行者・自転車通行量)

最終目標値 46,000人/2日 ※

※平日および休日通行量の合計

46,000人/2日 ※

※平日および休日通行量の合計

目標値と実績値

最終実績値 63,918人/2日 ※

※平日および休日通行量の合計

63,918人/2日 ※

※平日および休日通行量の合計

に差が出た要因

・平成27年3月に本施設がオープンし、導入施設の集客効果により、これまでになかった人の流れが生まれている。
・また、平成26年3月に川越駅西口駅前広場の改修が完了し、本市の新たな玄関口として供用が開始された事で、川越駅東西の回遊性が向上した。
・このように近年川越駅西口地区全体のまちづくりが大きく進展しており、特に上記二件の事業による相乗効果で、中心市街地における自転車・歩行者通行量の大幅な増加につながった。

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

・平成28年度より「かわごえ産業フェスタ」が本施設交流広場へ会場変更し、2日間で計約2万4千人が来場する等、交流広場では様々なイベントが開催され、平成27年3月の供用開始以来、駅からのアクセスの良さもあり、のべ10万人以上の人々が参加している。

3. 特記事項 (今後の方針等)

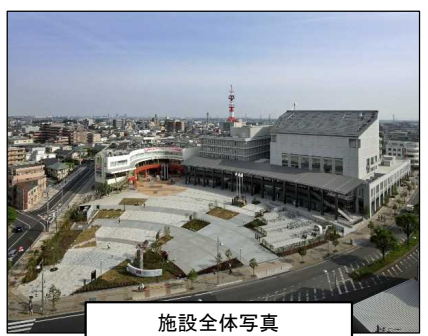
・今後も、地域のにぎわい拠点として機能している本施設の利用促進を図るとともに、商店街等の地域団体とも連携しながら、施設や交流広場でのイベント等を推進し、地域住民の活動・交流の活性化を図る。
・また、川越駅と本施設の間地点にあたる市有地において、官民連携事業による新たな拠点整備を進め、本施設との相乗効果を図りながら、川越駅西口周辺地区のさらなるにぎわい創出を図る。

(参考図面)市街地整備

計画の名称	1 西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)整備事業		交付対象	川越市
計画の期間	平成23年度 ~ 平成26年度 (4年間)			

概要図

事業対象用地



1-A-1
川越駅西口地区暮らしにぎわい再生事業